地学 Sheets

北海道各地から産出する黒曜石
その45

遠軽地域～露頭写真～ （Engaru Area）

写真1 谷本川火砕岩（中新世後期）の露頭．この露頭の凝灰岩の中に黒曜石があり、ここからサナブチ川へ転石として流される．

写真2 遠軽町社名淵のサナブチ川で採取．稜線にあたる部分が濡れているように輝くのが他の産地では見られない大きな特徴．

写真3 社名淵層上部層の谷本川火砕岩（中新世後期）の露頭．社名淵周辺にはこの火砕岩が分布し黒曜石が含まれている．

写真4 写真3における凝灰岩中の黒曜石．漆黒色であり常に水に濡れたような独特の光沢を呈する．5cm程度のものまである．

写真5 高温の凝灰岩が堆積した時の熱により、黒曜石の表層部は脱ガラス化作用が進み、表層にクリストバライトなどができた．

写真6 加熱後の冷却により黒曜石表層に圧縮応力層と引張応力層ができたが表層の脱ガラス化作用が進み力学的に不安定．

写真7 谷本川火砕岩により黒曜石は再加熱を受け、内部はアニーリングされたため割れ口は貝殻状断口を示さずほぼ面状に割れる．

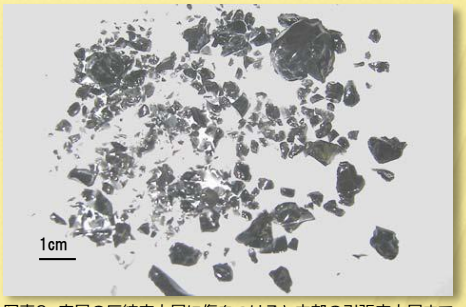

写真8 表層の圧縮応力層に傷をつけると内部の引張応力層までひびが到達し、応力が一気に解放されるためバラバラに割れる．

Mukai Masayuki
（学芸員 向井 正幸）

地学シートHP

旭川市博物館HP

ASAHIKAWA CITY

地学Sheets
Asahikawa City Museum

2026.7.31発行